

～ 宜野湾中学校で、社会人になった時に必要な「生きる力」を身に付けよう！ ～

ね ん じ ゅ う む き ゅ う

年中夢求

学校だより
令和2年度 12月号

令和2年12月22日（火）
宜野湾市立宜野湾中学校長 原田 利明

生徒会役員決定!!

生徒会役員選挙29人の立候補から

12月4日5・6校時に、生徒役員候補の立会演説会および選挙が行われ、会長1名（2年生）、副会長2名（2年生1名、1年生1名）、執行部19名（2年生12名、1年生7名）が決定しました。

立候補した29名は、選挙期間中、ポスターに公約を書き込んで掲示したり、現役員とともに、給食時間各教室をまわり、どのような学校を作りたいかをアピールしたり、朝のあいさつ運動等を行ってきました。立会演説会は、コロナの対策のため、動画に編集し、各学級で流して行われ、その後、投票が行われました。どの取組も、現役員が工夫し、コロナに負けない素晴らしい取組でした。

生徒会役員の皆さん、就任おめでとうございます。皆さんは、宜野湾中の生徒皆から信頼され、選ばれました、そのことに、まずは、自信を持ってください。そして、年中夢求の精神で、皆さんの新たな発想で、これまでの伝統に加え、新しいことに挑戦し、楽しく、安全で、どこにでも自慢できる、魅力ある学校、新しい伝統を作っていってほしいと思います。よろしくお願いします。

会 長	呉屋 征亮	2年
副会長	砂川 凌空	2年
	中山 凜音	1年

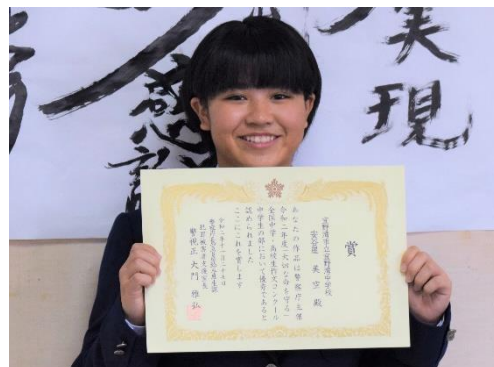


警察庁犯罪被害者支援室長賞

安谷屋 美空 さん

「大切な命を守る」

全国中学・高校生作文
コンクール中学生の部



校長講話

第2回校長講話は、「4つの命」と題して、下記のような内容をパワーポイントを使いながら紹介しました。

○沖縄でも集団暴行により、幸せになることや夢の実現ができなかった4つの命がある。

○加害者の共通点……不登校、時差登校、教室に入らず、暴言、器物破損、普通に学校生活が送れない。

暴行中、集団のためハイテンションになり何をしてるかわからなくなる。

○何のために生まれてきた……

・人に会い、お互いに幸せになるために生まれてきた。過去にとらわれるのではなく、自分でどう考えるかが大切。生んでくれてありがとうと前向きに生きることが大切。

○幸せとは……うれしくて心が喜び、大変な時でも心が満たされていること。

○人はだれでも、幸せになるために生まれてきた。だから、だれも、それをじゃましてはいけない。

○人の命も自分の命も決してうばってははいけない!!

・一度死んだら、もう生き返らない。ゲームや漫画とはちがう。

・この命は数えられないくらい多くの祖先の命のバトンパスで生まれた、奇跡的な命。

・亡くなったその悲しみは、何年たっても無くならない。忘れられることはない。

○宜野湾中でも過去に暴力事件が起きていた。

・それを先生方と協力して、先輩たちが生徒みんなの思いで、今の宜野湾中を築き上げてきた。。

・だから暴力事件や悪い事につながるケンカや、いじめにつながることは絶対にしない。

・まわりで起きそうになったらやめさせる。それができなければ、すぐ大人に知らせる。

○マザー・テレサの言葉……世界平和のため → 家に帰ってあなたの家族を愛しなさい。

子ども達の感想から 1年1組 瀬名波 実由

沖縄県にも4つの命をうばった暴力事件があることにびっくりしました。しかし、その加害者たちにも共通点もあり「それって家庭内からの問題なのかな」と考えました。そんなことを考えていた時に、最後のマザー・テレサの言葉「家に帰ってあなたの家族を愛しなさい」がとても心に残りました。私は、家族が豊かで幸せな家族だったら、暴力や暴言をやらなくなって、世界の平和につながると思いました。家庭内でケンカやトラブルが起きても、すぐに解決できる素直な家族にしていきたいと思うことができました。多くの祖先からの命のバトンパスで生まれた奇跡的な命や育ててくれた家族を大切にしようと思いました。

着物の着付け体験!!

2学年 家庭科の授業

2年生の家庭科の各授業に、地域の方3～4名を講師に招き、着物の着付け体験を行いました。子供たちも、普段との違いを確かめながら、着心地を楽しんでいました。



先生達も頑張ってます!!



多和田雪乃先生 数学



渡久地洋樹先生 体育



友寄香代子先生 数学

※ 宜野湾中学校ホームページではカラーでご覧いただけます!!